長浜曳山まつり
Nagahama Hikiyama Festival

長浜曳山祭

ひきやま

ユネスコ無形文化遺産
重要無形民俗文化財

2019年
4月13日(土)・14日(日)・15日(月)・16日(火)

4/6(土)	4/9(火)	4/9(火)～12(金)	4/10(水)～12(金)	4/12(金)
曳山交替式	線香番	裸参り	公開稽古	神輿渡御
4/13(土)	4/14(日)	4/15(月)		4/16(火)
起し太鼓 御幣迎えの儀 籤取り式の儀 十三日番	自町狂言 登り山 夕渡り	起し太鼓 春季大祭 朝渡り 太刀渡り	翁招き 奉納狂言 神輿還御 戻り山	後宴狂言 子ども歌舞伎観劇会 4/17(水) 御幣返しの儀

曳山博物館

ユネスコ無形文化遺産に登録された長浜曳山祭を紹介する博物館。伝統工芸の技を結集した豪華絢爛な曳山の実物展示、その舞台で演じられる子ども歌舞伎の映像と合わせて長浜曳山祭を満喫できます。

滋賀県長浜市元浜町14番8号
[TEL] 0749-65-3300
[FAX] 0749-65-3440

■ 9時～17時（入館は16時30分まで）
■ 休館日：年末年始（12月29日～1月3日）

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体（20名様以上）	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

＊長浜市・米原市の小中学生は無料

長浜曳山まつりフォトコンテスト

長浜曳山まつりフォトサイトは、写真にコメントを添えて投稿するサイトです。名場面をしっかり撮影してもOK、ふと目に入った光景を携帯電話で撮影してもOKです。楽しくユーモアあふれるコメントを添えて気軽に投稿してください。

公益財団法人長浜曳山文化協会理事長賞

詳細は長浜曳山まつりフォトサイトをご覧ください
http://pht.nagahama-hikiyama.or.jp
※この冊子にはフォトコンテスト受賞作の一部を使用しています

〈主　　催〉長浜曳山祭フォトコンテスト実行委員会
〈後　　援〉NHK大津放送局、朝日新聞大津総局、中日新聞社
毎日新聞社大津支局、読売新聞大津支局、京都新聞
〈お問合せ〉公益財団法人長浜曳山文化協会　TEL 0749-65-3300
公益社団法人長浜観光協会　TEL 0749-65-6521

【問合せ先】〒526-0059滋賀県長浜市元浜町14-8
長浜市曳山博物館
TEL:0749-65-3300　FAX:0749-65-3440

【協　　賛】長浜曳山祭協賛会
【発　　行】公益財団法人長浜曳山文化協会

平成31年度 祭典行事日程表

月　日	行　事		時　間	場　所
4/6（土）	曳山交替式	P8	午前10時頃から	曳山博物館
4/9（火）	線香番	P9	午後6時	出番山組稽古場
4/9(火)~12(金)	裸参り	P9	午後8時頃から	出番山組稽古場→八幡宮→豊国神社→出番山組稽古場
4/10(水)~12(金)	公開稽古	P9	（P9参照）	出番山組稽古場
4/12（金）	神輿渡御	P9	午後6時30分	八幡宮から御旅所
4/13（土）	起し太鼓		未明	全山組町内
	御幣迎えの儀	P10	午前7時	八幡宮
	籤（くじ）取り式の儀	P10	午後1時	八幡宮
	十三日番 子ども狂言	P10	午後6時頃から	出番山組町内
4/14（日）	自町狂言 子ども狂言	P11	午後1時頃まで	出番山組町内
	登り山	P11	午後1時以降	四番山から 順次八幡宮に到着
			午後4時	長刀山は町内から御旅所に到着
	夕渡り	P11	午後7時	八幡宮→大手門通り→八屋辻まで
4/15（月）	起し太鼓		未明	出番山組町内
	春季大祭		午前7時	八幡宮
	朝渡り	P12	午前8時30分までに	八幡宮に到着
	太刀渡り	P12.13	午前9時までに	八幡宮に到着
	翁招き	P12	午前9時25分	八幡宮
	奉納狂言 子ども狂言	P12.13	午前9時45分頃から終日	八幡宮で奉納後、参道と御旅所で上演
	神輿還御	P12	午後9時頃	御旅所での奉納狂言終了後、八幡宮へ
	戻り山	P12	午後9時30分頃	神輿還御の後、御旅所から各町内へ
4/16（火）	後宴狂言 子ども狂言	P14	終日	出番山組町内
	子ども歌舞伎観劇会	P14	午前10時45分から	長浜文化芸術会館
4/17（水）	御幣返しの儀	P14	午前8時	八幡宮

※赤字は見どころ

子ども狂言が演じられる山組は全部で十二組

※毎年四山組が演じます

平成31年度出番山（籤（くじ）取り後に順番が決定）

本年度、子ども狂言を奉納する曳山

せいかいざん
青海山

たかさござん
高砂山

ばんさいろう
萬歳樓

おきなざん
翁山

くじゃくざん
孔雀山

ときわざん
常磐山

ことぶきざん
壽山

ほうおうざん
鳳凰山

しょうじょうまる
猩々丸

かんこざん
諫鼓山

かすがざん
春日山

げっきゅうでん
月宮殿

平成31年度 暇番山組 御幣奉持者

高砂山	青海山	月宮殿	春日山	諫鼓山	猩々丸	鳳凰山
御幣使	御幣使	御幣持	御幣使	御幣使	御幣使	御幣持
脇阪	松岡	森田	小菅	秀平	四塚	平野
俊希	俊	大河	海音	和人	拓真	敬大
（5歳）	（5歳）	（11歳）	（9歳）	（8歳）	（8歳）	（5歳）
		榊持	榊持	榊持	榊持	
		辻	中居	松原	岡本	平山
		清史	篤志	大和	士紋	夏樹
		（6歳）	（6歳）	（8歳）	（4歳）	（7歳）

長刀山（なぎなたやま）　長刀組

子ども狂言を演じる他の十二基とは違った形で、大きな三つの車輪がついています。上には太刀渡りに用いた太刀とのぼりを飾りつけます。この山は長濱八幡宮には行かず十四日に直接御旅所へすえつけられます。戻り山では、先頭になって出発します。

長刀組太刀渡り

金幣奉持者		翁招き行事者	
柳田	湊多（10歳）	三島	常孝（中老）
具足		床几持	
山口	悠（13歳）	阿蘊	龍之介（4歳）
吉崎	清立（12歳）	浅野	歌楽（5歳）
河合	徹宗（14歳）	北川	璃空（5歳）
中村	和喜（12歳）	植松	恭之介（3歳）
浜寄	彩人（12歳）	堤	春翔（5歳）
田邉	汰喜（12歳）	小木	叶翔（4歳）
上田	空（9歳）	徳久	愛樹（5歳）
堤	太陽（10歳）	上田	晴（4歳）

常磐山（ときわざん） 呉服町組

亭（ちん）（2階部分）は寄棟づくりでむくり屋根になっています。亭の上には「ろじ」という鳥の彫刻があります。楽屋の側面や背面には、唐獅子の木の彫刻などがあります。高欄親柱には能狂言のつり狐にまつわる飾り金具がつけられています。

一條大蔵譚（いちじょうおおくらものがたり）

御幣使　川村旭弘（5歳）
三役　振付　川村和彦
　　太夫　竹本賀桐太夫（三役修業塾）
　　三味線　豊澤湊祝（三役修業塾）

配役
一條大蔵卿　川村一生（11歳）
常盤御前　木原旺志朗（8歳）
吉岡鬼次郎　西野全（9歳）
お京　大澤逸平（10歳）
八剣勘解由　横田莉大（6歳）
舞台方　佐々木悠人（12歳）

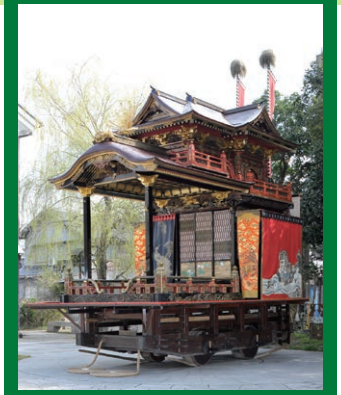
あらすじ

平家全盛の世。平清盛は宿敵源義朝の後室常盤御前を探し出し、義朝の遺児三人の命と引き換えにわが物としますが重盛に諌められて、うつけ者として知られた一條大蔵卿長成に妻として下げ渡します。六韜三略の兵書を伝える吉岡家の次男・鬼次郎は妻のお京と共に都に入り、この大蔵卿に接近し、常盤御前に今も源氏を忘れぬ志があるかをたしかめた上で救出しようとしていました。大蔵卿の家老・八剣勘解由と妻の鳴瀬に近づき、演能の帰りに大蔵卿を待ち受けたお京は首尾よく女狂言師として抱えられることとなります。

鬼次郎は邸内に忍び込み、お京から様子を聞きますが、常盤は一向に悲しむ様子もなく楊弓に夢中の様子。落胆した鬼次郎は常盤を懲らしめようと部屋へ押し入り折檻しますが、常盤は楊弓の的の下にした清盛の絵に向かって矢を射り、平家調伏を行っていたのでした。鬼次郎夫婦が詫びると、スパイである勘解由が二人を捕らえようとします。すると御簾の影から長刀が一閃して勘解由を倒します。

現れたのは、毅然たる貴公子の大蔵卿。驚く一同。実は大蔵卿は元は源氏につながる身ですが、平家に媚びへつらうのを嫌い、長年の間、作り阿呆を装ってきたのだと明かします。勘解由を誅し、源氏の重宝友切丸を鬼次郎を通じて言付けると大蔵卿は元の阿呆に戻って生活するのでした。

孔雀山（くじゃくざん） 神戸町組



亭は前に大きく出て、後部も横に幅広くなったつくりとなっています。舞台屋根の棟の上には、金銅製の羽を広げた孔雀を飾っています。胴幕には、虎の子渡し図の刺繍がされています。

勧進帳（かんじんちょう）

御幣使　廣瀬理（5歳）
三役　振付　千川貴楽
　　太夫　竹本乾太夫
　　三味線　豊澤龍三（三役修業塾）

配役
武蔵坊弁慶　高橋路由（12歳）
富樫左衛門　佐藤遼介（11歳）
軍内六郎　平川大貴（10歳）
権内次郎　恩田悠太朗（10歳）
源義経　廣瀬樹（9歳）
舞台方　福永惇晟（14歳）

あらすじ

鎌倉幕府将軍である兄・源頼朝に謀反の疑いをかけられた義経たちは追われる身となり奥州へ向かっていた。道中の加賀国・安宅の関で、義経一行は武蔵坊弁慶を先頭に山伏の姿で通り抜けようとするが、関守の富樫左衛門には山伏姿の義経たちを捕えるよう命令が下されていた。

そこで武蔵坊弁慶は機転を利かせて、焼失した東大寺を再建するため勧進を行っているのだと話す。すると富樫は、弁慶に勧進帳を読むように命じるのだった。もちろん勧進帳など持っていない弁慶はたまたま持っていた巻物を勧進帳であるかのように装い、朗々と読み上げる。その後も一行は山伏を演じきり、関所を通る許しを得る。

しかし、ふとしたことから強力が義経ではないかと疑われてしまった。緊迫した状況のなか、弁慶は義経をどこまでも強力として扱い、杖で打ち据える。それを見た富樫は頼朝の命を破り、一行を通してやるのだった。

翁山（おきなざん）

伊部町組

碁太平記白石噺（ごたいへいきしろいしばなし） 新吉原揚屋の場（しんよしわらあげやば）

御幣使　中川　葵　大（4歳）
三役　振付　岩井　小紫
　　太夫　竹本　甚太夫（三役修業塾）
　　三味線　豊澤　賀祝（三役修業塾）
配役
傾城　宮城野　有村　護（11歳）
妹　信夫　伊藤　優海（11歳）
新造　宮里　主馬　純太（10歳）
新造　宮紫　伊藤　優空（7歳）
禿　しげり　樋口　直輝（6歳）
大黒屋　惣六　伊藤　稜起（12歳）
舞台方　樋口　裕星（8歳）

亭の屋根は多くの棟からできています。胴幕は、牡丹に唐獅子の図です。見送り幕は、16世紀にベルギーで織られたもので、重要文化財のものと長浜市指定文化財のものがあります。

あらすじ

江戸新吉原は昼をあざむく歓楽街。

揚屋大黒屋・惣六は、かどわかされそうに成っていた田舎娘・信夫を救い店に連れて帰ってきた。奥州から来た田舎娘の方言丸出しの話を、遊女たちは面白がって聞き、なぶりものにする。

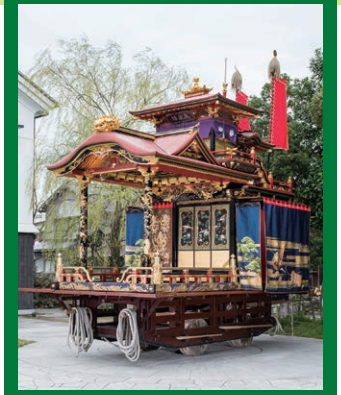
宮城野は太夫職と言う遊女の最高位につき、全盛を誇って居る。信夫の話を聞いているうちに、妹で有ることがわかり、信夫も探していた姉であったかと喜び合う。宮城野は父が無残にも殺された事を知り、驚き、癪を起す。信夫は介抱し、仇が討ちたいと訴える。

二人が仇討ちの決心をした所へ、様子を残らず聞いて居た惣六があらわれ、「曽我物語」に例え、時期を待ち十分に修練をしてから仇を討てと、姉妹をさとす。

惣六は宮城野の、年季証文と吉原大門の通行手形を与え二人を出立させる。

萬歳楼（ばんざいろう）

瀬田町組



亭は前後に分かれていて、前の屋根には宝珠、後ろの屋根にはつるぎが飾られています。舞台の前柱には、立体的な表現をしている高砂の老夫婦の飾り金具があります。のぼりの先には、日と月の金具がつけられています。

鳥辺山心中（とりべやましんじゅう）

御幣使　山本　歩（6歳）
三役　振付　三桝　清次郎
　　太夫　常磐津　都代太夫
　　三味線　常磐津　三之祐
配役
菊池　半九郎　古池　冠太（12歳）
坂田　市之助　増谷　颯人（10歳）
坂田　源三郎　谷口　琥太郎（10歳）
若松屋　お花　古池　陽太（10歳）
若松屋　お染　児玉　晴飛（9歳）
舞台方　北村　卓巳（8歳）

あらすじ

若松屋の勤め人・お染は初めて店に出た日に、江戸から来た旗本・菊池半九郎に見初められた。それ以来、半九郎はお染の店へ揚げ詰めに通っていた。ある夜、お染は店を抜け出し訪ねてきた父親の与兵衛と茶屋・花菱屋で会い、半九郎への感謝を語り合っていた。そして、与兵衛は半九郎とお染のために準備した正月用の着物を渡し帰って行った。

その後に現れた半九郎は、急に将軍が江戸に帰ることとなったために自分も京都を去ることになったとお染に告げる。そこへ半九郎の同輩・坂田市之助とお染の同僚・お花がやって来て酒宴となる。半九郎は市之助に家宝の刀を売りたいと相談を持ちかける。理由を尋ねる市之助に半九郎はお染を自由の身にして親元に帰してやりたいと話すが、市之助はそれを諌めて酒を飲み続ける。

そんな中、市之助の弟・坂田源三郎が遊び歩いている兄を連れ戻しに来る。しかし、市之助は適当にあしらって、その場から逃げてしまう。源三郎は残った半九郎に怒りをぶつける。お染はそれをなだめようとするが、源三郎はお染を突き飛ばし半九郎を罵る。生来短気な半九郎は酒に酔っていたこともあり源三郎に激怒し、二人は刀を手に外へ出て行く。

斬り合いの末、半九郎は源三郎を殺めてしまう。その罪を認め潔く切腹すると言う半九郎にお染は一緒に死なせてほしいと訴える。それを承知した半九郎とお染は与兵衛が届けてくれた正月用の着物を死に装束として鳥辺山へと向かうのだった。

春休み
3月20日頃～
稽古（けいこ）

春休みに入った3月20日頃から朝・昼・晩と、4月12日まで毎日厳しい稽古が繰り返されます。

4月10～12日は稽古を公開しております（P9参照）

4月第1土曜日
4月6日（土）
曳山交替式（ひきやまこうたいしき）

来年の長浜曳山祭の出番山4基が曳山博物館の展示室に入ります。1年間展示していた曳山は今年の長浜曳山祭のために山蔵へ戻ります。

場所　長浜市曳山博物館
時間　午前10時頃～午後3時頃（予定）

三番叟（さんばそう）とは

三番叟は能の演目「翁」から派生したものです。「翁」は番付（プログラム）の最初に演じられ、人形浄瑠璃や歌舞伎もそれに倣い、幕開けに演じられています。長浜曳山祭もそれを踏襲し、幕開けである壱番山で演じられます。

また、三番叟は五穀豊穣を寿ぐおめでたいものとされ、壱番山をお祝いするものという側面もあります。

かつては、四月十三日の籤（くじ）取り式の儀の後、壱番籤（くじ）を引いた山組の役者が急遽三番叟をするというものでした。昭和六十三年に少しでも曳山祭に参加していただけるよう、広く公募するようになり、毎年長浜市全域から応募をいただいています。

太夫、三味線は三役修業塾の中学生・高校生が務めます。

壽式三番叟　壱番山にて

演者	藤田　凌大	（小学五年生）
振付	岩井　小紫八	（三役修業塾）
太夫	岸田　健太	（高校三年生）
三味線	中川　太吾	（中学三年生）

4月9日
線香番（せんこうばん）

總當番（祭りの役員）が、各山組の稽古場を訪問し、狂言の時間を計ります。昔は線香を用いて計ったのでこの名がついています。

4月9～12日
裸参り（はだかまいり）

午後8時頃から、若衆が町内から長濱八幡宮と豊国神社へ参詣し、役者の健康とよい奉納狂言の籤（くじ）をひけるように祈ります。

4月12日
神輿渡御（みこしとぎょ）

午後6時30分頃、長濱八幡宮から御旅所へ神輿が出発し、15日の狂言が終わるまで、そこにとどまります。

10～12日 子ども狂言 公開稽古 場所・時間

※時間と場所は目安です
予定は変更する場合があります

4月13日

御幣迎えの儀（ごへいむかえのぎ）

午前7時、曳山にかざる御幣を長濱八幡宮まで迎えに行く儀式です。これにはすべての山組が参加します。

籤取り式の儀（くじとりしきのぎ）

奉納狂言の順番を決めるため、出番山の若衆の中から選ばれた籤（くじ）取り人が、午後1時に長濱八幡宮に集まり籤を引きます。

十三日番（じゅうさんにちばん）

午後6時頃から、各山組内の道路上に曳き出された曳山の舞台で、本衣装と化粧をした子ども役者が初めての子ども狂言を演じます。

13日 十三日番（子ども狂言）上演場所・時間

※❶1回目の上演 ❷2回目の上演
※矢印は曳山の向きです
※時間と場所は目安です

4月14日

自町狂言（じちょうきょうげん）

午前中、各山組内の道路上に曳き出された曳山の舞台で、本衣装と化粧をした子ども役者が子ども狂言を演じます。

登り山（のぼりやま）

各山組での自町狂言を終えて、午後1時頃から子ども役者を乗せた曳山が、4番山から順に長濱八幡宮の境内に集まります。

夕渡り（ゆうわたり）

午後7時、長濱八幡宮から一八屋の辻まで、子ども役者が、舞台を終えた時の姿で若衆につきそわれて歩きます。

14日 自町狂言（子ども狂言）上演場所・時間

※❶1回目の上演 ❷2回目の上演
※矢印は曳山の向きです
※籤（くじ）順によって上演時間が決まります
※時間と場所は目安です

4月15日

朝渡り（あさわたり）

午前8時頃から、舞台が始まる時の衣装をつけて、子ども役者が、自町より長濱八幡宮へと歩いていきます。

太刀渡り（たちわたり）

源義家ゆかりと伝わる、長い太刀をもつ長刀組の武者と力士の行列です。午前9時10分に長濱八幡宮に入り、翁招きの後、御旅所へ向かいます。

翁招き（おきなまねき）

長刀組の裃姿の中老が、最初長刀組と書いた席札の付いた青竹を壱番山に向かって差し出します。この儀式を合図にしゃぎりが鳴り、奉納狂言が始まります。

奉納狂言（ほうのうきょうげん）

午前9時45分から長濱八幡宮境内で、籤（くじ）の順番に4つの山組が子ども狂言を演じます。なお、壱番山では、狂言に先立ち三番叟が演じられます。

参道での子ども狂言

長濱八幡宮で子ども狂言が奉納された後、御旅所への参道の5か所で子ども狂言が演じられます。

神輿還御（みこしかんぎょ）

御旅所での、子ども狂言がすべて終わると、曳山のしゃぎりが流れる中、神輿が長濱八幡宮へ還っていきます。

戻り山（もどりやま）

神輿が還ると、長刀組を先頭に提灯のともった曳山が順番に御旅所から各町内へ戻っていきます。

15日（本日）子ども狂言執行場所・時間

各町の山蔵

曳山は3年に1度の出番年を待ちわび、各町内の山蔵に大切に保存されています。

⑦御旅所	⑥札の辻例席	⑤米嘉例席	④一八屋例席	③金屋例席	②鮒熊例席	①八幡宮	山組
16:00（16:45）	14:00（14:45）	←	12:00※（12:45）	←	←	9:45（10:30）	壱番山
17:15（17:55）	←	15:15（15:55）	←	13:15（13:55）	←	11:00（11:40）	弐番山
18:25（19:05）	←	16:25（17:05）	←	14:25（15:05）	←	12:10（12:50）	参番山
19:35（20:15）	←	←	17:35（18:15）	←	15:35（16:15）	13:20（14:00）	四番山

※壱番山の一八屋例席は、曳山博物館広場に曳き入れ狂言執行。（雨天の場合は恒例の一八屋例席にて）
※上が開演時間、下が終演時間。子ども狂言の上演時間は40分以内です。
※天候や社会情勢により、行事内容・場所・時間が変更になることがあります。

4月16日

後宴狂言（ごえんきょうげん）

各町内で曳山を曳き出し、午前9時頃から夜の千穐楽まで数回にわたり、子ども狂言を上演します。

子ども歌舞伎観劇会（こどもかぶきかんげきかい）

午前10時45分から長浜文化芸術会館のステージ上で、子ども狂言を披露します。（観覧有料）

【お問い合わせ：65-6521】
主催：長浜曳山祭協賛会
長浜曳山祭總當番

4月17日

御幣返しの儀（ごへいがえしのぎ）

13日に迎えた御幣を午前8時に各山組から長濱八幡宮に返しに行きます。

16日（後宴狂言）子ども狂言執行場所・時間

※❶1回目の上演 ❷2回目の上演
※矢印は曳山の向きです
※時間と場所は目安です
※籤（くじ）順によって上演時間が決まります

長浜文化芸術会館

囃子演奏	10:55~
1番山	11:20~
2番山	12:45~
3番山	14:00~
4番山	15:15~

翁山

1番山の場合	（文芸会館）、15:00~、18:00~、20:00~
2番山の場合	10:00~、（文芸会館）、16:00~、20:00~
3番山の場合	10:30~、（文芸会館）、17:00~、20:00~
4番山の場合	12:30~、（文芸会館）、18:00~、20:00~

萬歳楼

1番山の場合	（文芸会館）、14:30~、16:30~、19:30~
2番山の場合	10:00~、（文芸会館）、16:30~、19:30~
3番山の場合	10:30~、（文芸会館）、17:30~、19:30~
4番山の場合	10:00~、12:30~、（文芸会館）、19:30~

孔雀山

1番山の場合	（文芸会館）、14:00~、16:00~、19:00~
2番山の場合	—、（文芸会館）、15:30~、19:00~
3番山の場合	—、（文芸会館）、16:00~、19:00~
4番山の場合	—、11:00~、（文芸会館）、19:00~

常磐山

1番山の場合	（文芸会館）、14:00~、15:30~、17:00~、19:00~
2番山の場合	9:45~、（文芸会館）、15:30~、17:00~、19:00~
3番山の場合	9:20~、11:30~、（文芸会館）、17:00~、19:00~
4番山の場合	10:00~、12:00~、（文芸会館）、17:45~、19:30~

公益財団法人長浜曳山文化協会

公益財団法人長浜曳山文化協会は、長浜曳山祭の保存伝承、曳山や山蔵の保存修理、曳山文化の継承と普及啓発を行っています。その活動の一部をご紹介します。

三役修業塾（さんやくしゅぎょうじゅく）

長浜曳山祭に欠くことのできない子ども狂言の演技指導（振付）と義太夫語り、三味線奏者の育成を行っています。

三役修業塾定期発表会

伝承委員会（でんしょういいんかい）

長浜曳山祭を市民ぐるみで保存伝承し、広く情報発信していくことを目的に活動しています。

長浜市立西中学校　総合学習

長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会（ながはまひきやままつりぎょうじ・ひきやまほぞんせんもんいいんかい）

長浜曳山祭行事・曳山専門委員会は、さまざまな見地から長浜曳山祭の曳山修理に関する指導・助言により、曳山や装飾品をより良い形で保存し、次世代へ継承していくことを目的に、平成16年2月20日に設立しました。現在、有形民俗、無形民俗、幕類（染織）、金工、建造物、漆工の分野の専門委員で運営しています。

長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会

長浜曳山まつり推進会議（ながはまひきやま・すいしんかいぎ）

「長浜曳山まつり推進会議」は、長浜曳山祭の曳山行事のユネスコ無形文化遺産登録により目的を達成した「長浜曳山祭ユネスコ無形文化遺産推進会議」の後継組織です。まつりの保存・伝承や普及啓発を推進し、交流人口の増大による地域経済の活性化につなげるよう、祭執行団体をはじめ、幅広い市民の力を結集する組織として設置されました。

「長浜曳山まつり推進会議」設立総会

長浜曳山祭保存伝承懇話会（ながはまひきやままつりほぞんでんしょうこんわかい）

「長浜曳山祭保存伝承懇話会」は長浜曳山祭の保存伝承への提言組織として設置されました。祭の在り方を協議し、経験者・実施者としての経験や知見から懇話会形式で検討し、答申・提言をしていきます。